

多羅尾小学校の保護者さんからの

クチコミ情報

昨年の9月のことです。せっかく小学生になるのだから、子どもには何か独自のことを夢中に取り組み環境をつくりたい、とぼんやり考えていました。そんな時に「多羅尾小学校オープンスクール案内」のプリントに目が留まり、直感的に「これだ!」と思い、胸が高鳴りました。それから娘と一緒にオープンスクールやオペレッタを楽しみ、娘は自然な流れで入学を決めました。近所の小学校ではなく、バスに乗って少し離れた多羅尾小へ通わせることに不安はありましたが、今では上級生だけでなく、バスの運転手さんや常連のお客さんにも助けてもらいながら、毎日楽しく通っています。また学校の先生方はどんな時も丁寧に接して下さり、感謝することばかりです。少しでも興味のある方は、ぜひ一度オープンスクールに参加してみてください。おススメです。!

(一年生保護者)

貴生川駅から高原鉄道とバスを乗り継いで通学、車内で読書をしながら、時々遭遇する鹿や雉、猿に「サファリ鉄道みたい」と楽し気です。少人数校ですが、時計台のある綺麗な校舎に大きな体育館、25mプール、図書室、ランチルームと充実した施設で、のびのびと過ごしています。授業では、難問にチャレンジするのが好きな息子の為に個別に工夫して下さるなど、個性を認め、愛情を持って温かく接し育て下さる先生方のおかげで、好奇心や探求心を忘れず楽しく学習に取り組んでいます。豊かな自然の中で、地域の方々にも沢山関わっていただき、味噌づくりや田植え、信楽焼の陶芸づくり、他校との合同での学習発表会や茶摘み、びわ湖ホールへの音楽鑑賞など多くの行事を一学期足らずの内に体験しました。児童期の幸福感は、ゆるぎない人生の指針になると考えており、明るくなった息子の表情から、多羅尾小学校に転校して本当に良かったと感じております。

(三年生保護者)

多羅尾小学校に通いだして3年が経ちました。娘がみずから選んだ学校で、毎日学校に行くのが楽しいようで、それが私にとっても何よりも嬉しいことです。勉強もしっかり理解して、お友達とも助け合って学んでいるようで、日々成長を感じられます。休み時間は他の学年のお友達とも楽しく遊んでいるようで、兄弟、姉妹のようでとても賑やかです。年齢関係なく遊ぶのはとても良いことだと感じます。それと保護者にとっても、良い学校だと感じます。お友達みんなのお父さん、お母さんを知っていて、みんなとてもフレンドリーで親切です。スキー教室やものづくり活動など、親子一緒にする行事も他の学校より多いのも、また少人数の学校ならではののではないかと思います。

(三年生保護者)

今年で入学して5年目になりますが、改めて多羅尾小を選んで良かったと心から思える小学校です。今年から妹も入学しました。入学前は学区内の小学校に通わせようかとも考えましたが、妹も上の子と同じ様に伸び伸びとした環境で学ばせたい、そして何より上の子が毎日楽しく学校に通っている姿を見て、やっぱり多羅尾小が良いと思い、入学を決めました。妹が入学して数か月経ちますが、みんなとすぐに打ち解けられ、生き生きと過ごしています。言葉だけでは、子ども達がどんな風に楽しく過ごしているのか伝えきれないので、一度オープンスクールに参加していた

だいて、ご自身の目で確かめていただきたいです。きっと多羅尾小の魅力が伝わるはずです。

(一年生、五年生保護者)

今年は新1年生3名、転入生1名が来てくれました。全校11名です。バス通学の子も達はバス停から8分ほどの道のりを歩いて登校しています。お近くに住む先生が勤務外の日も毎朝一緒に歩いてくださいます。我が家は車で送迎していますが、みんなの列に間に合えば、そこで車を降りてもらいます。下校時は、先生と一緒にバス停まで歩きます。下校時間が全員そろっている曜日は、先生と子ども達がバスを待つ姿がにぎやかで楽しそうです。子どもは5年生になり、学校行事の運営などを任される学年のようです。多くは語らないので、先生とのお話で伺い知ることですが、休み時間なども話し合い、すべき事に充てたりしながら活動しているようです。オペレッタも含め、様々な場面で子ども達に決定権がゆだねられているような感じです。先生方の見守りと導きに、子ども達は応えていきます。人数は少なくても、共に作り上げていくような学校生活があります。責任や任務を面倒に感じているフシはありますが、それらをこなしていきます。たくさんの小さな達成感を重ねているように感じています。自分の子どもに合った学校環境は?とお考えになったことがあるならば、ぜひ一度のぞきにいらしてください。のんびりしながら充実した小学校だと思えます。

(五年生保護者)

多羅尾小学校に通学するようになり、子どもの成長で一番感じるのは、店等で自ら進んで店員さんに質問するなど、意見を交わす姿を目にすることです。今まで人前に出ることが特に苦手だっただけに、少しでも改善されてきているところは、オペレッタやプレゼン形式の授業等の成果かなと感じています。特にオペレッタの発表では年々回数を重ねていく中で、児童全員の演技と歌声に感動を覚えるとともにわが子の成長を感じる瞬間でもあります。このことは日々の授業の中で先生と児童の距離が近い日頃から意思疎通もしっかりとっていただき、一人ひとりの個性、意見をとても大事にいただいているからだと思えます。こうした学習環境の中、すくすく育つ子どもの姿を目にしたとき、親として幸せを感じる瞬間でもあります。地域の方々も多羅尾小学校の応援団として、学校・地域・家庭が密接につながり子ども達をサポートしていただいています。少しでも子どもの小学校生活で悩みをお持ちの方、またオペレッタに興味をお持ちの方は、ぜひ多羅尾小学校のオープンスクールにお越しください。

(五年生保護者)

私自身は1学年100人近くの小学校出身でしたので、正直入学時は大丈夫かなという不安がなかったわけではありません。ですが実際学校が始まると全くの杞憂でした。児童は少ないながら、学年を超えてみんなが仲良くとても個性的で活気のある毎日。病気などで学校に行けなくて不機嫌になることはあっても、学校に行きたくないという誰かが思ったことのある言葉を聞いたことがありません。楽しい行事がすごく多いというのもあるでしょうし、また少人数で一人ひとりの役割が大きく、責任感も醸成されているのかなと感じています。先生方も一人ひとりのケアをしっかりしてくださいますし、保護者数も限られているので、PTA活動でもめるようなこともありません。他校との合同学習や学童、習い事などでも同年代の友達と接する機会も全然あります。お子さんの大切な時期の選択肢の一つとして、ぜひ一度多羅尾小学校を体験してみてください。

(六年生保護者)